



第1回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会

2014年世界トランポリン競技選手権大会 第一次次選考会
2014年世界年齢別トランポリン競技選手権大会 代表選考会
2014年 アジア競技大会 第一次選考会

実施要項

主 催	公益財団法人 日本体操協会
主 管	群馬県トランポリン協会
後 援	群馬県、群馬県教育委員会、(財)群馬県スポーツ協会、群馬県体操協会、前橋市前橋市教育委員会、前橋市体育協会、群馬テレビ(株)、上毛新聞社(株)、群馬よみうり新聞社、読売新聞前橋支局
期 日	平成 25 年 5 月 16 日(金)～18 日(日)
競技日程	5 月 16 日 (金) 会場設営・団体別割り当て練習・審判会議・監督会議・開会式 5 月 17 日 (土) 審判会議・部門別競技・代表選考予選・割り当て練習・表彰式 5 月 18 日 (日) 部門別競技・代表選考予選・決勝・表彰式・閉会式
会 場	前橋市役所 宮城体育館 〒371-0244 群馬県前橋市鼻毛石町 1561 TEL: (027) 283-8735
競技規則	公益財団法人日本体操協会制定「2013 年トランポリン採点規則」に則る
選 考 会	2014 年世界トランポリン競技選手権大会 第一次選考会 2014 年世界年齢別トランポリン競技選手権大会 代表選考会 2014 年アジア競技大会 第一次選考会
競技方法	年齢別 (11-12 才・13 才-14 才・15-16 才) <ul style="list-style-type: none">第 1 自由演技・第 2 自由演技を行い、その合計により順位を決定します (決勝なし) ※世界年齢別選手権の選考を兼ねます (希望者のみ) 年齢別 (17 才以上) <ul style="list-style-type: none">第 1 自由演技 (シニア ルール) ・第 2 自由演技を行い、その合計を予選得点とし、男女とも 8 名が決勝に進出します ※世界年齢別・世界選手権/アジア競技大会 第一次選考を兼ねます (希望者のみ) ※世界年齢別選考対象者は 17-18 才となります (19 才以上は選考対象外)

難度制限 本大会は年齢別日本代表選出のために**派遣標準点**を採用しているため、難度制限を設けません

選考方法 **年齢別競技 日本代表**

- 個人競技の代表選手については、以下の派遣標準点を超過していることを条件とし、各年齢区分で選考希望の中から男女各上位4名の選手を選出します
- シンクロナイズド競技の代表選手については、トランポリン強化本部にて検討の上、各年齢区分とも個人競技で選出された選手からペアを決定します

派遣標準点	男子	女子
11-12才	88.000	84.000
13-14才	92.500	89.000
15-16才	95.000	89.000
17-18才	97.000	91.000

※17-18才の部については、シニアと同じ第1自由演技要求種目のため、2.0の難度点を加算した得点を設定

世界選手権大会 日本代表

- 以下の派遣標準点（第1自由演技・第2自由演技・決勝演技の合計）を超過していることを条件とし、選考希望選手の中から本大会では男女上位各1名を日本代表として選出します

派遣標準点	男子	女子
世界選手権	157.000	145.000

アジア大会 日本代表

- 世界選手権大会 第1次選考会参加選手を対象とし、第1自由演技・第2自由演技・決勝演技の合計得点で順位を決定する
- 本大会 第一次選考会男女とも1位の選手を日本代表として選出します

※上記、各選考内容の詳細は、[協会ホームページ](#)にて確認してください

使用器具 FIG 認定器具 ユーロトランポリン (4mm x 4mm テープベッド)
FIG 公認同時性得点、跳躍時間点測定装置

表彰 各競技、優勝: 優勝杯、賞状、メダル
2位、3位: 賞状、メダル 4位~6位: 賞状

- 参加資格
- 公益財団法人日本体操協会に平成 26 年度選手登録を済ませたもの
 - 各カテゴリーとも、2014 年 12 月 31 日現在の年齢区分に参加のこと
- ※ 各選考を希望しない選手も全日本年齢別選手権大会として参加できます

参加料 6,000 円

申込方法 所定のファイルに必要事項を記入の上、メールにてお申込みください

※郵送での申込は受け付けません

※期限以降の申込については一切受け付けませんのでご注意ください

受付期間: 2014 年 4 月 1 日 (月) ~ 4 月 18 日 (金)

メール送信の際、以下に内容に従って送信ください

件名: 第1回全日本トランポリン競技年齢別【団体名】

宛先: jigyotrampoline@gmail.com

公益財団法人 日本体操協会 事業委員会 宛て

添付: 申込用紙 (Excel ファイル)

※ Excel ファイルのまま送信ください。PDF など、別のフォーマットに変換したファイルは受け付けません。各シートも変更や削除などしないようにしてください

※ メールアドレスについては、できるだけ手入力を避け、上記のリンクをクリックしてメールを作成してください

振込期限 振込期間: 2014 年 4 月 1 日(月) ~4 月 21 日 (月)

※最終日は取扱日ではなく、口座入金の日付が 4 月 21 日 (月) までです

※期限までに振込がない場合は、参加申込書が無効となります

※期限以降の変更による大会参加費の返金はいたしません

振込口座 三菱東京 UFJ 銀行 渋谷中央支店 普) 0352258

口座名義 財団法人日本体操協会

※ 振込者名は、頭に「Z1」(ゼットいち)を入れ、個人名ではなく団体名を使用ください
(振込金の照合ができない場合は無効になりますので十分ご注意ください)

※ 振込時に上記のアルファベットが使えない場合、カタカナ・ひらがなでも結構ですが、その際表示が長くなり切れて表示されてしまう場合があります。その際は、団体名が認識できる範囲で短い表記を工夫してください

例) Z1タイソウキョウカイクラブ -> ゼットいちタイソウキョウカイ

帯同審判

- 本大会出場選手の所属団体は、審判員（公認審判員 1 種または国際審判員）の帯同をお願いします
- 帯同できない場合は、運営本部において審判員を依頼しますので、各所属団体につき 20,000 円の帯同審判依頼料を負担してください
- 帯同審判は大会期間中、競技役員としての役割をお願いすることもあります
※ 他の参加団体が帯同している審判員を帯同することはできません。依頼の際は十分確認をしてください

AD 申請

- 日本体操協会へ登録を完了した者にのみ AD カードを発行します
- 発行された AD カードは、会場内では必ず見える位置に着用してください
- あくまでも演技を行う選手のサポートになりますので、不必要にアリーナへの入場は控えてください。
- 各所属団体への AD カードの発行枚数と条件は以下の通りとします

役 職	枚 数	備 考
監督・コーチ	1	各団体のコーチ資格を有する者で、各所属団体に対して1名分発行します。選手の演技グループごとに競技エリア内に入ることができます
選 手	選手数	出場選手数を発行する
スポッター	2	各所属団体で2名分発行します。選手の演技グループ毎に競技エリア内に入ることができます
トレーナー	1	各所属団体で1名分発行します。競技中は競技エリア外で待機し、治療などを要する場合は競技エリア内に入ることができます

撮影許可証

- ビデオ撮影については、大会参加申込み時に申し「撮影許可証」を取得してください。「撮影許可証」は1所属につき2枚を上限として発行します
- 撮影の際は「撮影許可証」を必ず身につけて所定の場所で撮影してください
※ 大会当日の撮影許可証は発行しませんのでご注意ください
※ 写真撮影は禁止します

お弁当/宿泊

- お弁当については、別紙の申込用紙に必要事項を記入の上、群馬県トランポリン協会宛てにお申込みください。またお問い合わせは申込用紙に記載のご担当者様までお願いします
- 宿泊の手配は各所属団体で行ってください

大会保険および
大会期間中の怪
我について

- 協会の費用負担にて、参加選手に対して練習日午前9時以降、競技終了までスポーツ傷害保険をかけます
- 発生した傷害の補償についてはスポーツ傷害保険の範囲とします。
- 競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません。
- 大会参加者は健康保険証を持参してください

ドーピング検査
について

- 本大会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会となります。出場者は大会参加申込が完了した時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなします。また、未成年者である場合は大会参加申込が完了したことにより、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなします
- 本大会出場者は、本大会において実施されるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性があります。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるのでご留意下さい
- 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)で確認して下さい。また本大会は TUE 事前申請が必要となる競技会として指定されております。TUE 事前申請については JADA ウェブサイト (<http://www.realchampion.jp/process/tue>)で確認して下さい

演技写真撮影に
ついて

本大会は記録のため写真および映像を撮影します。協会が定める競技者規定第 8 条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとします。また、出場選手の記録のため、写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。業者は決定後参加者に連絡いたします。また、大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます

- その他注意事項
- 年齢別選手権大会の派遣費用として実費（遠征に関わる費用全般）が発生しますので、その旨ご承知おきください
 - 日本代表に選出された選手は、FIG 主催競技会に出場のため、登録に必要な書類の提出をお願いすることになります。提出期限やその他詳細については、後日選出された選手の所属団体を通じてお知らせします

提出物（予定）

- ① 個人調査票（メール送信）
- ② 210 x 270 ピクセルサイズのデジタル顔写真（メール送信）
- ③ パスポートのコピー（郵送）
- ④ パスポートサイズの写真 2 枚（郵送）

- 体育館駐車場の申請は必要ありません
- お弁当の注文変更は、申込期日までお受けします
- 公式競技日程に関しては、事業委員会側作成で一任ください

お問合せ

メールでのみ受け付けます

※ お返事までに数日いただくことがありますので、その旨ご了承ください

※ 携帯のメールアドレスからお問合せの場合、以下のアドレスからメールを受け取れるよう設定してください

jigyotrampoline@gmail.com	大会申込全般・お弁当
trampoline@ostc.jp	大会日程・競技全般

全日本トランポリン競技年齢別選手権大会における予選第1自由演技の特別要求

各年齢別部門においては、特別要求を含む第1自由演技と第2自由演技(難度点を加算する)にて構成される。

- 11-12才、13-14才、15-16才の部は、第1自由演技の難度点は算入されない。要求種目は第2自由演技で実施しても難度は算入される
- 17才以上の部はシニアルールのため、*印をつけた2種目の難度は算入される

11-12才の部

第1自由演技は異なる10種目で構成され、うち2種目は270度未満の宙返り種目(注:難度が0.3点未満の種目、フィートバウンスも含む。但し、異なる種目でなければならない※下線部審判本部注記)を使用することができる。以下に示す特別要求を満たす種目には競技カードに(*)印を付けなければならない。

また、特別要求は1つの種目で2つ以上の要求要素を満たすことはできない。

- 1つの腹落ちで着床する種目
- 1つの背落ちで着床する種目

13-14才の部

第1自由演技は異なる10種目で構成され、うち1種目は270度未満の宙返り種目(注:難度が0.3点未満の種目、フィートバウンスも含む)を使用することができる。以下に示す特別要求を満たす種目には競技カードに(*)印を付けなければならない。

また、特別要求は1つの種目で2つ以上の要求要素を満たすことはできない。

- 後方1回宙返り1回ひねり(4 2 /)
- 1つの腹落ちで着床する種目
- 1つの背落ちで着床する種目

15-16才の部

第1自由演技は異なる10種目で構成され、うち1種目は270度未満の宙返り種目(注:難度が0.3点未満の種目、フィートバウンスも含む)を使用することができる。以下に示す特別要求を満たす種目には競技カードに(*)印を付けなければならない。

また、特別要求は1つの種目で2つ以上の要求要素を満たすことはできない。

- 後方1回宙返り1回ひねり(4 2 /)
- 前方1回宙返り1回半ひねり(ルドルフ)もしくは前方1・1/4宙返り1回半ひねり(ルディボールアウト)
- 1つの背落ちまたは腹落ちで着床する種目

17才以上の部(シニアルール)

本大会の17才以上の部は、世界年齢別トランポリン競技選手権大会における予選第1自由演技の特別要求ではなく、シニアルール(FIG競技大会第1自由演技)を採用する

FIG競技大会第1自由演技における要求

1. それぞれ最低270度(3/4回)の宙返りを伴う、異なる10種目からなる演技であること
2. 競技カードに*印をつけた2種目は、難度点を伴うものであること。その難度点は演技点に加算され、第1自由演技の合計得点が算出される
3. これらの2種目は予選の第2自由演技において繰り返し行うことはできない。もし繰り返した場合は難度点に算入されない